

医学研究に関する情報公開および研究協力へのお願い

福井県済生会病院 放射線技術部では、臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学研究を実施しています。

こうした研究では、対象となる方に関して既に存在する試料や情報、あるいは今後の情報や記録などを調査しますが、対象となる方にとって新たな負担や制限が加わることは一切ありません。このような研究では、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる方お一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。ご自身の情報や試料を研究に使用してほしくないという場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」へご照会ください。研究への参加を希望されない場合、研究結果の公表前であれば、研究期間内にご連絡いただいた時点より対象から除外いたします。なお研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありませんのでご安心ください。

【研究課題名】健診腹部超音波検査が契機で発見された腹部限局性大動脈解離のリスク因子と特徴的な画像所見の検討

【研究期間】福井県済生会病院 臨床研究審査委員会承認日～令和8年3月31日

【研究の目的】健診受診者の腹部超音波検査において、腹部限局性大動脈解離を発見し、寄与因子と特徴的な画像所見像について検討する。

【研究の内容】

1. 研究の対象となる方 当健診センターの受診者さんで、平成16年4月1日から、令和7年4月15日の間に、健診センターで超音波検査を受けた方

2. 研究に用いる試料・情報

健診の過程で取得された血液、生年月日、診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像所見と画像）など

3. 研究の方法

健診受診者全員から書面で同意を取得する。検査前の問診において年齢、性別、症状の有無、既往歴、基礎疾患、生活習慣（喫煙・飲酒）について聴取する。

腹部超音波機室で超音波担当者が腹部超音波検査を行う。

腹部限局型大動脈解離と診断された受診者に造影CT検査を行い、特徴的な画像所見を分析する。

腹部限局型大動脈解離の背景因子と特徴的な画像所見から後ろ向きに検討を行った。

【当院における研究責任者】

福井県済生会病院 放射線技術部 坪内 啓正 診療放射線技師（課長）

【本研究に関する問い合わせ窓口】

○問い合わせ窓口

〒918-8503

福井県福井市和田中町舟橋 7-1 福井県済生会病院 放射線技術部 坪内 啓正

電話：0776-23-1111（代表）